





流行の新柄あり地帯あげ肩掛新調他種々

●東京電報

●金升文捕獲の報  
●二箇の政權者あり、一は韓  
●井上大將と恩賜金  
●侍従武官後任  
●開城の統監歓迎  
●統監の歸任  
●東洋拓殖の矛盾  
●滿鐵の不評判  
●駐韓軍減少  
●博士の講話  
●水産協議會  
●本年の租稅收入  
●本年の歲入金  
●實業同志會役員改選  
●午砲火藥庫落成  
●青坡病院在院者  
●圖書俱樂部の創立

●東京電報

●金升文捕獲の報  
●二箇の政權者あり、一は韓  
●井上大將と恩賜金  
●侍従武官後任  
●開城の統監歓迎  
●統監の歸任  
●東洋拓殖の矛盾  
●滿鐵の不評判  
●駐韓軍減少  
●博士の講話  
●水産協議會  
●本年の租稅收入  
●本年の歲入金  
●實業同志會役員改選  
●午砲火藥庫落成  
●青坡病院在院者  
●圖書俱樂部の創立

●東京電報

●金升文捕獲の報  
●二箇の政權者あり、一は韓  
●井上大將と恩賜金  
●侍従武官後任  
●開城の統監歓迎  
●統監の歸任  
●東洋拓殖の矛盾  
●滿鐵の不評判  
●駐韓軍減少  
●博士の講話  
●水産協議會  
●本年の租稅收入  
●本年の歲入金  
●實業同志會役員改選  
●午砲火藥庫落成  
●青坡病院在院者  
●圖書俱樂部の創立

●東京電報

●金升文捕獲の報  
●二箇の政權者あり、一は韓  
●井上大將と恩賜金  
●侍従武官後任  
●開城の統監歓迎  
●統監の歸任  
●東洋拓殖の矛盾  
●滿鐵の不評判  
●駐韓軍減少  
●博士の講話  
●水産協議會  
●本年の租稅收入  
●本年の歲入金  
●實業同志會役員改選  
●午砲火藥庫落成  
●青坡病院在院者  
●圖書俱樂部の創立

●東京電報

●金升文捕獲の報  
●二箇の政權者あり、一は韓  
●井上大將と恩賜金  
●侍従武官後任  
●開城の統監歓迎  
●統監の歸任  
●東洋拓殖の矛盾  
●滿鐵の不評判  
●駐韓軍減少  
●博士の講話  
●水産協議會  
●本年の租稅收入  
●本年の歲入金  
●實業同志會役員改選  
●午砲火藥庫落成  
●青坡病院在院者  
●圖書俱樂部の創立

●東京電報

●金升文捕獲の報  
●二箇の政權者あり、一は韓  
●井上大將と恩賜金  
●侍従武官後任  
●開城の統監歓迎  
●統監の歸任  
●東洋拓殖の矛盾  
●滿鐵の不評判  
●駐韓軍減少  
●博士の講話  
●水産協議會  
●本年の租稅收入  
●本年の歲入金  
●實業同志會役員改選  
●午砲火藥庫落成  
●青坡病院在院者  
●圖書俱樂部の創立

●東京電報

●金升文捕獲の報  
●二箇の政權者あり、一は韓  
●井上大將と恩賜金  
●侍従武官後任  
●開城の統監歓迎  
●統監の歸任  
●東洋拓殖の矛盾  
●滿鐵の不評判  
●駐韓軍減少  
●博士の講話  
●水産協議會  
●本年の租稅收入  
●本年の歲入金  
●實業同志會役員改選  
●午砲火藥庫落成  
●青坡病院在院者  
●圖書俱樂部の創立



第一、管理層局庶務部總工員相圓り、受友會なるものを組織し、會員中不時の病症不測の災禍に罹りたる場合は、相助け相救ひて慈善の善業を盡さんことに務めつゝあること。去る十二日の紙上に掲載せしむるが如きは、之に止まらず、豫てより録道青年會が同地方の兒童教育に力を注ぎ、日曜學校を設立し、盛んに之が機運の發展に努力しつゝあることに深く同情を寄せ、本月二十五日青年會に於て開催の筈なる「クリスマス」祝ひの費用に充てんがため、去る十二日祝會會員一同事務所に於て、茶入演藝會を開催したるが、非常の盛會にて、觀衆人二百餘名に達したと云ふ。

## 仁川府の裏手にて

一昨夜、瀨潮時仁川港に川府の裏手に驚る海岸に約入、稱許の大鯰打ち揚げられたるが干満の差激し、所て右大鯰を淺瀬に捨て置きたる瀨潮引、昨朝未明に發見し直に水産會社に右の由を通知したるより、同社にては直に警察に届け出でたるが、右發見者に就き或は日本人なりと云ひ或以韓人なりと稱し、目下脱逃を生じ居れるが、警察出張の上右解決をなしたと云へば違からずして、京仁の市中に鯨肉の賣場耳を聳する許りに至るべしと

仲々ニ(一)といふは去月上旬、前借金百二十圓にて龍山可祝亭より酌婦として現はれたるがタニニ當時同地龍山庫にて興行せし〇〇團とかいふ一行中の大根役者中村としに熱くならず義理の借金をして慕ふも幾路を廻つたり、驚れて夫婦となる折を指折り敵むて待ち焦る居りしが時は去る十四日草木も眠る北瀨時中村は舞臺の上の梅川忠兵衛をうのよみに癡癡さへして密て裏口より忍び入りタニの都屋に至りて何うで、互ひに儘になりぬ身体夫婦になるも行末送れられ

子

(日曜木)  
何所迄も不貞罵れのいさくは二人の言葉せば  
ばるも五月蟬しれぬ風体にて縁々迄事さ  
へせずソレのみか果ては得手勝手手の言葉を  
登ふたぞ田中は今更ながら呆れ果て聲聲  
らげつ然らば此の先きは何事に付けてもソ  
ナタの事は心配せざる程に自分の勝手に手  
るがよかるべしと言ひ放ちたるにきくは却  
談纏々ぞ互に手を取り明けの鐘の六つ  
を合圖に同亭を抜け出で麻浦街道を一直線  
に一山停車場にと赴きソレより深車にて沙  
山に至り停車場前の待合にて一杯酌み交は  
し居る處を折採來合はしたる西部署の刑部  
大塚氏の爲めに發見され女をば元の古巣女  
追ひ返へられたり

金川郡邑內居住金東海

から出たせの嘘を並べ其の世話にて梅町の  
憲兵署屋といふ料理店に前借五十圓にて住  
み込むこととなりたるが元來横濱ものな  
れば主人に對して不利益のことのみなせ  
に他の酔漢等が騒動するより主人は大に困  
却し他に住み替へさせんものさ或る日  
を連れて仁川に下り同地の某料理店に相  
識したるに丁度同店にては當時酌婦屋に入  
れの最中なりしかば早速約束通り前借金  
五十圓をば憲兵署屋の主人といふが諸取ら  
んとする際さうは何と思つてか俄かに打ち  
取押へられ海州地方裁判所に送致されて

大 三 全 集

九衛は今春よりも一心持高くなつて  
切り立て至極樹立てるものも生れ  
又又金島田では以前よりも根を下  
を立て前髪をきつちりと樹立てるそし  
物も今迄は目録やうな異紅のもの  
られたが來春は白の禰房のついたもの  
られるさきだに若い表情に常ん花紅  
まをを表したやうな無子には白の掛物  
が何となく奥床くつて純白に見えて

[illegible]

仲仕の格闘

仁川鹽岡町居住仲仕

口縣生れ金村荒太郎及巴同地宮町一丁目

那師送店の仲仕福岡縣生れ箱島源之助の

一昨は仁川税關構内にて荷揚中僱か

は

今迄引續けたものと比較すると稍派手

に聞けるがその派手か云ふに云々

言はれぬ萬箇に處があるこれを今年の

較べて見ると一層拘すべき詩趣がある

一に上品なツシで地味で意氣な點は宛然

熱地に結繩とした半襟を見るやうである

棒を以て源之助の頭

は以て堪へざるべし源之助は頭部を割られ出  
 したるに驚き官出張し加害者荒木太郎  
 を本營に引致し源之助をして直に高木病院  
 入院せしめたるが爲は左程の重傷にあら  
 れば生命には別條なしといふ

しるこ屋の夫婦 去月初旬近新町  
 下目に御膳することいふ肉太の勢の

ふん  
をこ

ふん  
をこ

不審の男 本町三丁目足袋商中  
次郎方へ一昨夜十一時頃氏名不詳の職  
の男來り足袋を買ひ五圓紙幣を出した  
り次郎の女房は四圓七十五銭の何  
渡さんとなるに右の男は「此れは何  
の十圓紙幣であつたぞ」と言ひ張り  
來るから考へて懸けたところ其まゝ立去り  
といふが變手古な奴もあつたものなり

敷島樓支店移轉 仁川敷島遊樂敷島  
店は今回遊廓の入口元橋半樓の時に移  
大に出動連吸引に努むることとなりぬ

したる様イザ判定となるや、前の言葉に  
 知らりたる懐中鑑一文もなきに屍川樓主人  
 佐六三郎は葉をにやし付馬として右の船  
 に至りたる所船中にも一文もなく他の船  
 より冷かされたるより終に兼吉同伴秘密  
 めいたるが兼吉は懇々説諭を加はられ  
 文藝ひの上放逐せらる

雲々煙渺渺 廣島城生れ山崎トモ三  
 本月五日酉前寄坂十五番地料理店見  
 助傳五十五圓にて雇はれたる女なるが

牛里放舒

(長電話三十九番)

店の勉強 龍平 龍平 龍平 龍平 龍平 龍平 龍平 龍平 龍平 龍平  
大門通り四丁目に西洋雜貨店  
が價格非常に低廉にて品物の  
ふなれば開店以來なか／＼の

座の善り狂言 同座本  
は「新木作り肥後の駒下駄」  
の中村(歌太郎)下女それさ、妻  
八百八(川柳肥後守)松田新

(第三十郎)

廣告

壬暮年玉用菓子  
特別大割引  
**流生菓子**  
箱折詰  
菓子罐詰  
菓子一式  
多に高尙優良なる品澤山  
用に不拘陸脚用命奉煩通  
龍山旭橋通り

東京

五

[illegible]



